

第3号議案 第20期（2018年度）事業計画（報告）

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、熊本地震、九州北部豪雨災害などでの活動を継続していきたいと考えている。岩手県野田村については、チーム北リアス（青森県八戸高等専門学校、青森県弘前大学、など）のネットワーク団体と情報交換しながら、高台団地での交流イベント支援や子どもの交流事業など、被災地のニーズに寄り添った形での支援の継続を考えていきたい。また、福島県郡山市については、引き続きNPO法人ハートネットふくしまの活動を間接的に支援したいと思っている。地元西宮の県外避難者の支援については、KSN（関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）主催での交流イベントや学習・遊び支援活動の継続を行いたい。ただし、新たに大規模な災害が発生した場合は、近畿ろうきん社会貢献預金「すまいる」制度を活用して活動可能な範囲で迅速な対応をしていきたい。

平常時の活動については、これまでの①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱の活動を中心に、加えて今年度「健康防災基金」を立ち上げ、まずは地元西宮で「都市農園プロジェクト」や「西宮ウォークプロジェクト」などの具体的な実施や、西宮市や西宮市社会福祉協議会と連携して「災害ボランティアセンター運営訓練」や「災害ボランティア養成講座」などの事業を実施したい。また、NPO法人北いわて未来ラボと連携しiPadを使用した子ども向けプログラムの開発や、防災研究会における兵庫県上郡町での活動、あるいは、「休眠預金」の活用が1年後からスタートすることを踏まえての事業展開なども模索していきたい。同時に、財源確保のための寄付や協賛金など得るために企業などへの営業活動、および、将来を担ってもらえる若手人材の発掘と養成にも取り組んでいきたいと思っている。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

(1) 東日本大震災の支援活動

- ①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）
- ②西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）
- ③野田村ファンクラブ

(2) 兵庫県佐用町・丹波市水害の支援活動

(3) 熊本地震の支援活動

(4) 九州北部豪雨災害の支援活動

II. 次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動

1. 地域防災活動

(1) 子ども防災クラブ

(2) 子ども森林体験ツアー など

2. 防災意識高揚のための取り組み

- (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク (J ネット) 総会
- (2) ひょうご市民活動協議会 (愛称: ひょうごん)
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議 (兵庫県)
- (4) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画 (案) ・ ・ 収益 (事業、会費、寄付など) を高めるために

- (1) 防災 IT プロジェクト(みやもん)の実施 ・ ・ NPO 法人北いわて未来ラボ
- (2) 防災ウォーキングイベントの企画 (「健康防災基金(仮称)」の設置)
- (3) 都市農園プロジェクト (高木地区)
- (4) 自治会単位での防災訓練の企画
- (5) 寄付や助成金獲得について検討会(休眠預金やファンドレイジングなど)
- (6) 若手育成プロジェクト (次世代のリーダー育成) など